

3 6/23 出町区で実演講話

荒尾警察署が出張講座



特殊詐欺の手口を実演する警察署員

出町区(鹿本隆彦区長)は、出町区集会所で防犯講話を実施しました。6月に荒尾市で詐欺被害が多発したことを受けて同区が企画。荒尾警察署員(生活安全課)を講師に招いて開催されたものです。

この日は約30人の区民が参加。警察署員と荒尾地区防犯協会書記が還付金詐欺をテーマに加害者と被害者による電話でのやりとりを「実演」してみせ、オレオレ詐欺、架空請求詐欺など振り込め詐欺全般への注意を呼びかけました。

4 詐欺の手口はさまざま こんな言葉に気をつけて!

- オレオレ詐欺 息子や孫をかたって…

「風邪を引いて声が変わってる」

「携帯電話の番号が変わった」

- 架空請求詐欺 ○○会社から…

「名義を貸してほしい」

「名義貸しで問題になった」

お金を振り込む前に

相談を!

振り込め詐欺相談ホットライン

☎096 (381) 2567

荒尾警察署 生活安全課

☎0968 (68) 5110

出張講座行います!
お問い合わせください



荒尾警察署

生活安全課 石川 史樹 課長

1人で判断してはダメ! 家族や警察に相談を!

振り込め詐欺の被害者は高齢者が多く、犯人の話を信じ込んでしまい、だまされていることに気づかない人もたくさんいます。また、最近ではネットバンキングによる詐欺が西日本ではやるなど手口はさまざまです。

電話でお金やATM、キャッシュカードの話が出たら詐欺としてみてください。1人で判断せずに、いったん電話を切つてすぐに家族や警察に相談してください。また、家族との会話を増やしたり、離れて暮らす家族とはママに連絡をとることが大切です。皆さん自身や家族の大事なお金をだましとられないよう家族への注意喚起をよろしくお願いします。

地域においても、高齢者が電話しながらATMを操作している場面を見かけたら、「もしかして詐欺かも」と疑い、声をかけてあげたり、警察に通報するなど、被害の防止にご協力をお願いします。

振り込め詐欺に 気をつけて!

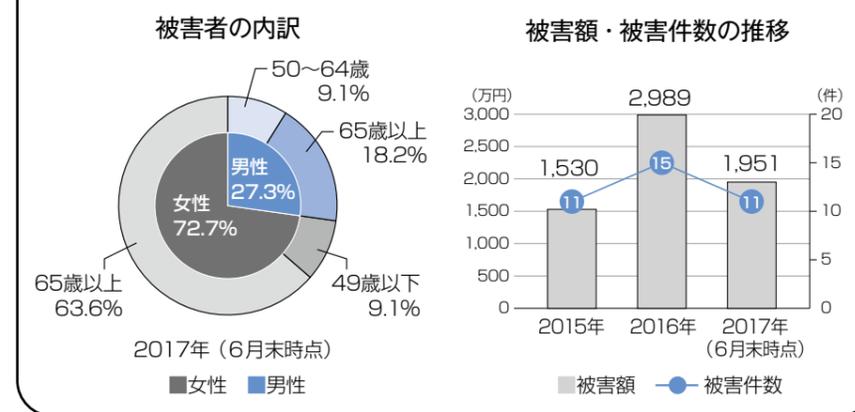
※振り込め詐欺

電話その他の通信手段を用いて、対面することなく被害者をだまし、架空・他人名義の口座へ現金を振り込ませるなどの詐欺のこと。



1 たったの2日間で 360万円の被害

荒尾警察署管内での振り込め詐欺被害状況



360万円、この金額は6月13日から14日にかけて荒尾警察署に届け出があった振り込め詐欺の被害額です。4件で360万円の被害が荒尾市で発生し、この全てが同じ手口で、65歳以上の高齢者が狙われて起きたものです。

荒尾警察署管内で、2017年上半期の被害は還付金詐欺4件、オレオレ詐欺3件、架空請求詐欺4件と手口もさまざまです。被害件数も増加傾向にあり、改めて注意が必要です。

2 実際にあった事例 市職員をかたった還付金詐欺

市職員をかたった人物から、「健康保険料の払い戻しがあります。期限が今日までなので、今日中に手続きをお願いします」などとかなり、近くのATMへ行くように指示。銀行などの店内ATMではなく、病院や大型スーパーの出張ATMへ誘導される。被害者はATMで犯人に電話し、指示されたとおりにATMを操作して、現金を振り込む被害に遭っています。

犯人は振り込みを意識せずに言葉巧みに指示する上、被害者は電話に集中していることから、振り込みの操作をしている認識がなく、振り込み後の明細書を見て初めて被害に遭ったことに気づきます。

だまされない
ためには…

- 「電話でお金が戻る話」は、詐欺!
 - 「キャッシュカードと携帯電話を持ってATMに行って」は、詐欺!
 - 「ATMに着いたら電話して」は、詐欺!
- 冷静になって考えましょう!